

磁器タイル光触媒コーティングシステム

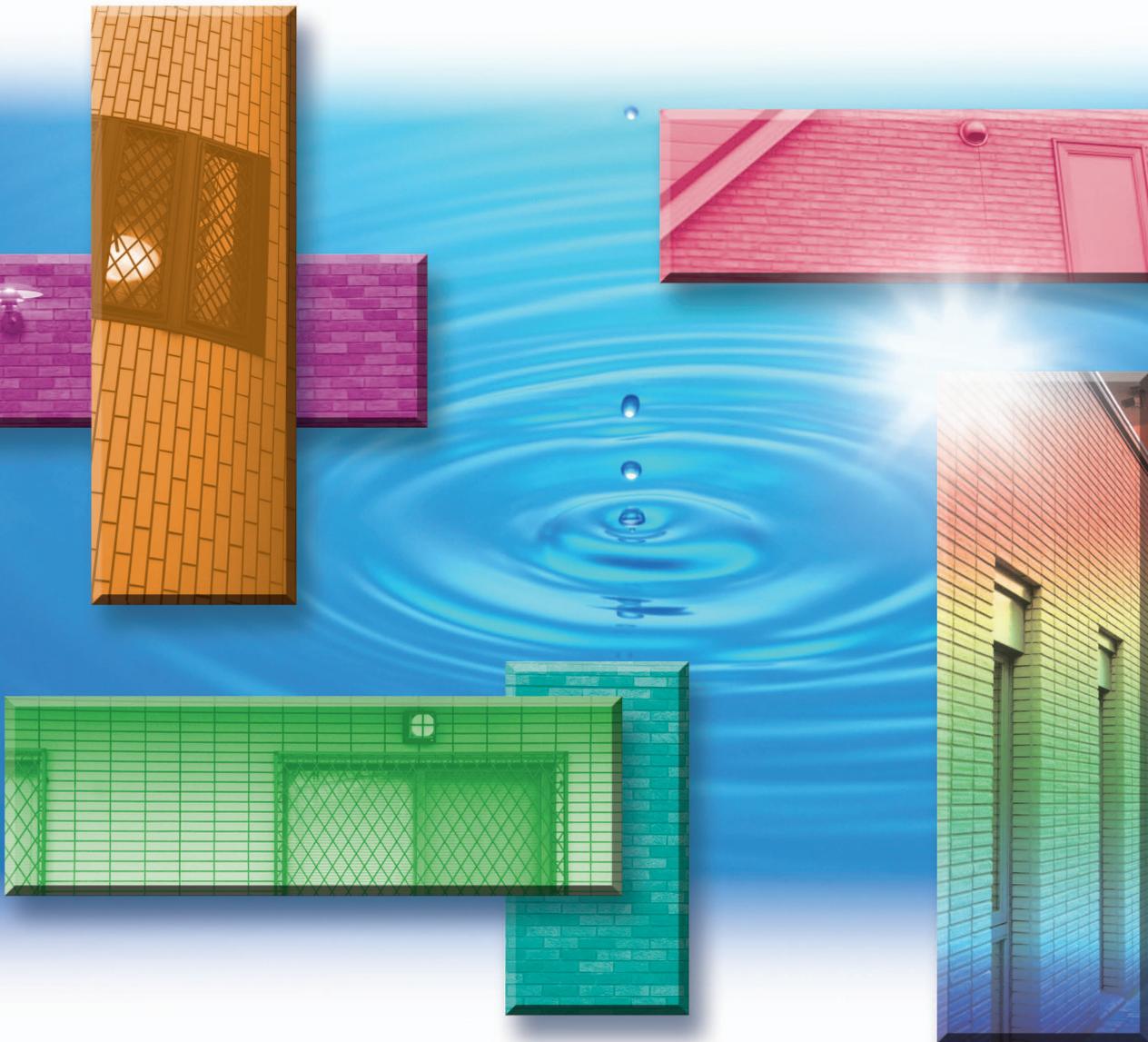
光触媒コーティング材

磁器コートTi

水系浸透性吸水防止材

シールトンW

酸化チタンによる光触媒技術と吸水防止効果が磁器タイルを守ります。



美しさに感動。建築再生時代への第一歩。

光触媒コーティング材 **磁器コートTi**

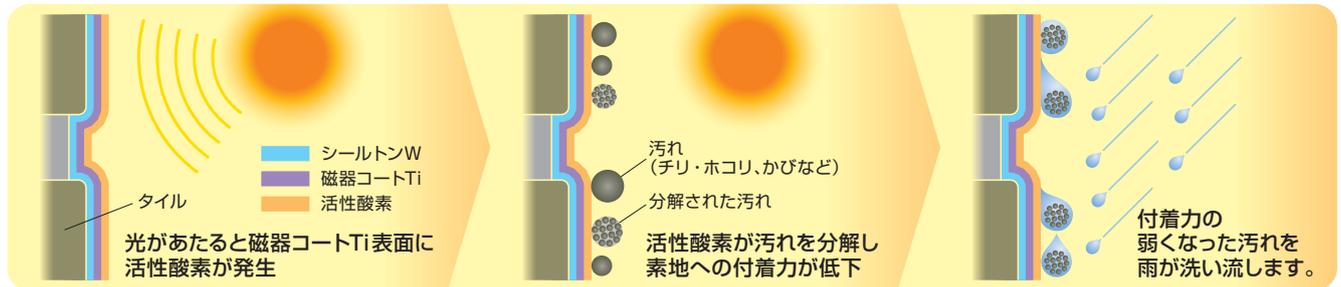
酸化チタンによる光触媒の特長は、強い分解機能(酸化力)と超親水性機能です。2つの機能の相乗効果により、高い防汚効果が期待できます。

■磁器コートTi 塗装タイルと無塗装タイルの汚染比較(暴露1年)

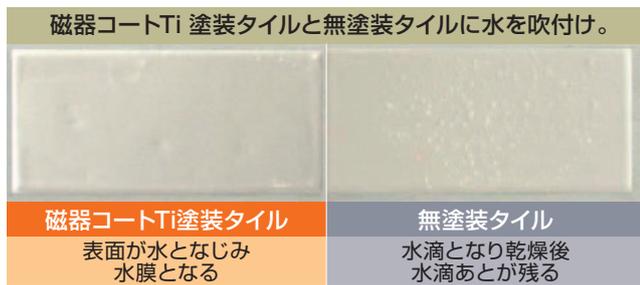


強い分解機能

酸化チタンに紫外線があたるとその表面に活性酸素が発生し、有機物系の汚れが酸化され分解されます。分解された汚れは、タイルへの付着力が弱まり雨により流されます。また、細菌やかびの表皮を酸化して分解することで繁殖を抑制することができます。



超親水性機能



防かび性



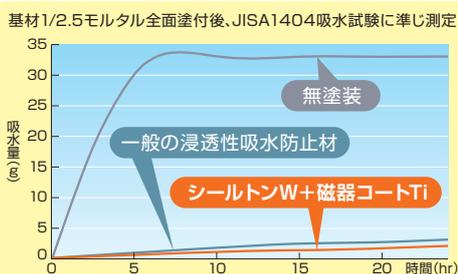
酸化チタンに光が当たると、その表面に水が吸着することにより超親水性機能が発現されます。超親水性の表面では、水が表面と汚れの間に入り込み、汚れを浮き上がらせます。

水系浸透性吸水防止材 **シールトンW**

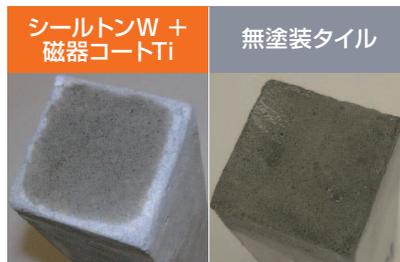
浸透性吸水防止材「シールトンW」を下塗りすることで、モルタル目地から雨水の侵入を防ぎ、躯体を保護することにより、タイルの剥落防止や、エフロレッセンス流出防止に役立ちます。

シールトンWは、親水性部分と疎水性部分(撥水)を持ち、目地のモルタルに浸透後、モルタルと親水性部分が結合し、モルタル表面に疎水性部分の層が形成され水の侵入を防ぎます。

■吸水性試験結果



■吸水防止効果



施工実績



光触媒技術と吸水防止効果が磁器タイルを守ります。

塗膜性能

試験項目	試験結果	品質規格
付着性	○	JIS K5600-5-6 クロスカット法2mm角(0:カットの縁が完全に滑らかで、どの格子の目にもはがれない。)
耐酸性	異常なし	5%硫酸7日間浸漬し異常がないこと
耐アルカリ性	異常なし	水酸化カルシウム飽和水溶液に7日間浸漬し異常がないこと
耐温水性	異常なし	50℃温水に7日間浸漬し異常がないこと
促進耐候性	異常なし	キセノンランプ法3000時間で異常がないこと

標準塗装仕様

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	・タイル張替、クラック処理、エポキシ注入などタイル壁面の補修を行う。 ・補修後、専用の洗浄液を用い洗浄を行う。(注1) ・素地のpHが6~8になっていることを確認する。(100㎡に1箇所) ・素地は十分に乾燥させる。					
2 下塗り	シールトンW	100	0.04~0.08	1	16時間以上	はけ ウールローラー (中毛:毛丈11mm程度・無泡)
3 上塗り	磁器コートTi	100	0.04~0.06	1	最終養生 24時間以上	はけ ウールローラー(注2) (中毛:毛丈11mm程度・無泡)

(注1) 洗浄工程は、仕上り・性能保持のため最も重要となる工程です。専門の業者に依頼することをお奨めいたします。最寄りの営業所にご相談ください。
 (注2) 磁器コートTiをウールローラーで塗装する場合、ウールローラー含浸後、しごき板にて十分しごいてください。膜厚が厚くなると仕上りむらが発生します。

タイルの基礎知識

1. タイルの種類

施釉: うわぐすりをかけたもの 無釉: うわぐすりをかけてないもの

種類	性質	特徴	焼成温度	素地の状態	釉薬の有無
磁器		素地は透明感があり、緻密で硬く叩けば金属のような音がする。破断面は貝殻状。	1250℃以上	ほとんど吸水しない (1.0%以下)	施釉 無釉
せつ器		磁器のような透明感はないが焼き締まっていて吸水性が小さい。土ものタイルは、この区分に入る。	1200℃以上	磁器より吸水するが 吸水量は少ない (5.0%以下)	施釉 無釉
陶器		素地は多孔質で吸水性が高く、叩くと濁音を発する。	1000℃以上	吸水量大 (22.0%以下)	ほとんど施釉
土器		多孔質で吸水性が高い。	800℃以上	吸水量大	ほとんど無釉

2. 外装タイルの種類 主に建物の外装に用いられるタイルの素地は、磁器とせつ器です。

サイズ(mm)	種類	磁器コートTi 塗装可否
45二丁平 95×45	ブライタイル マットタイル 無釉タイル	○
45角平 45×45	ラスタータイル	×
※45二丁平・45角平には、せつ器質タイルはありません。		
二丁掛平 227×60	施釉タイル	○
小口平 108×60	無釉タイル	△ 無釉のせつ器タイルには塗装不可の場合があるので ご相談ください。

● 荷 姿

商品名	系 統	容 量	危険物分類	危険等級	有機溶剤区分
シールトンW	水系	15kg・3.5kg・1.5kg	—	—	—
磁器コートTi	溶剤系	12kg・3kg・1kg	第四類第二石油類	Ⅲ	第2種

塗装上の注意事項

- 塗装前には必ず塗装マニュアルをお読みください。
- 素地のタイルは種類によって塗装できない場合がありますので、必ず塗装可能なタイルであることを確認してください。(塗装可能なタイルの見分け方は塗装マニュアルを参考にしてください。)
- 洗浄工程は、仕上り・性能保持のため最も重要となる工程です。専門の業者に依頼することをお奨めいたします。最寄りの営業所にご相談ください。(洗浄の内容は塗装マニュアルをご参照ください。)
- 気温5～35℃、湿度75%以下で塗装してください。
- タイル表面温度が5～60℃で塗装してください。
- 強風時や降雨・降雪のおそれのある場合は塗装を避けてください。
- 下記の部位は十分養生してください。
 - ・ 塗装面、プラスチック製品、窓ガラス、金属部位、植木など(変色や腐食する可能性があります。)
 - ・ シーリング材面(シーリングの油分がローラーに付着して広がると汚染の原因になります。)
- シーリング材は、タックが切れているのを確認してから養生してください。
- シリコン系シーリング材が施工されている場合、その周辺は、防汚効果が発揮できませんので打ち替えしてください。(適合シーリング材：変性シリコン、ポリサルファイド、ポリイソブチレン)
- 使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- 塗付量は標準的な数値です。素地の形状や状態、塗装方法、塗装環境などによって増減することがあります。
- 磁器コートTiをウールローラーで塗装する場合、ウールローラー含浸後、しごき板にて十分しごいてください。膜厚が厚くなると仕上りむらが発生します。塗付量は厳守願います。
- 塗り残しがないようにご注意ください。塗装部分と塗り残し部分は、経時的に汚染度合いが顕著に異なります。
- シールトンWを塗装した塗装用具は水洗い可能ですが、磁器コートTiまたはその他塗料の塗装に使用しないで下さい。
- 磁器コートTiを塗装した塗装用具は、金属部分に液が付着したまま放置すると錆が発生しますのでご注意ください。また、塗装用具を他の塗料と兼用することは避けてください。
- バケットに残った磁器コートTi、ウールローラー、はけは翌日以降に使用しないで下さい。
- 素地の状態、塗装部位の形状、環境などによっては十分に防汚効果を発揮しない場合があります。
 - ・ シリコンシーリング材から溶出するシリコンオイルなどの付着がある場合
 - ・ さび汚れが発生する場合
 - ・ 建物の構造上、汚れが集まりやすい場所
- カタログ・塗装マニュアルに記載されていない素地や塗装仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

取扱い上の注意事項

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
 - ・ 防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業着・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
 - 容器から取り出す時は、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
 - 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
 - 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けてください。
 - 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
 - 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
 - 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
 - 容器は密栓し、子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
 - ・ シールトンW：40℃以下で、雨水や直射日光、高温多湿、潮風、凍結などを避けて保管
 - ・ 磁器コートTi：0～20℃の冷暗所で保管。
 - 磁器コートTiの保管期間(0～20℃冷暗所)
 - ・ 開封後：1ヵ月以内
 - ・ 未開封：製造後6ヵ月以内
 - 捨てる時には、産業廃棄物として処分してください。磁器コートTiの使用後残品は、元の容器に戻さず必ず廃棄してください。
 - 詳細な内容が必要な時には、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
- ※溶剤系塗料を使用する時は、上記の注意事項に合わせて下記事項に注意してください。
- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
 - 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう必ず保護具を着用してください。
 - 取扱い作業所には、局所排気装置を設けてください。
 - 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
 - ・ 有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業着・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
 - 臭いは食品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざける、または養生するなど、十分に注意してください。
 - 容器から取り出す時には、こぼれないように注意してください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
 - 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器、または粉末消火器を用い初期消火をしてください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX 059-397-6191
 技術本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX 059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
 大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
 九州支店 ☎092-938-0071

取扱店